

うるし

兵庫県下のうるし



書写塗碗
通寶山彌勒寺蔵

しょしやぬり

たけだぬり

たんばうるし

書写塗・竹田塗・丹波漆

(京都府福知山市夜久野町)

令和2年10月24日(土) ▶ 12月24日(木)



最後の竹田城主・赤松広秀公の
所有膳一式
供養塔のある見星山法樹寺蔵



明治時代の竹田碗と引札
竹田塗研究保存会蔵



漆を掻く故・衣川光治氏
福知山市やくの木と漆の館 画像提供

漆掻きさん蜻蛉か蝶か
朝もはよから木にとまる

主催・会場 / 姫路市書写の里・美術工芸館、神戸新聞社
 後援 / サンテレビジョン、ラジオ関西
 協力 / 書寫山圓教寺、通寶山彌勒寺、
 播磨書写塗伝承会、竹田塗保存研究会、
 福知山市やくの木と漆の館、NPO法人丹波漆 (順不同)
 企画 / 公益財団法人 姫路市文化国際交流財団
 開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
 休館日 / 月曜日(11月23日祝は開館)、11月4日水、11月24日火
 入館料 / 一般310(250)円、大学・高校生210(160)円、
 中学・小学生50(40)円 ※()内の料金は20人以上団体

●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、及び介護者1人、どんぐりカード、ひょうごっ子ココロカード提示の小中学生、姫路市内在住の65歳以上の方は無料。
 ▶「関西文化の日」入館無料 11月14日(土)・15日(日)



姫路市書写の里・美術工芸館 交通のご案内

- JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス「書写山ロープウェイ」行きで約25分。●姫路バイパス・姫路西ランプより約15分。
- 山陽自動車道・姫路西ICより約10分。●中国自動車道・夢前スマートICより約15分。●無料駐車場(45台)

同時開催

企画展示 播磨地域の工芸品

播磨の削物師

山名秀圭 生誕100年

会期/令和2年10月24日(土)▶12月13日(日)
会場/一般展示室

山名 秀圭 本名/繁 大正9年~平成31年

木彫家の佐野信雄や、削物師の大村雲谷に師事し、伝統的な彫刻技術を学ぶ。姫路の削物は、姫路藩士の生まれであった市川周道が小竹齋と号し一門を形成しており、その最後の継承者にあたる。煎茶用の香盆を中心に、素材の木を活かした茶道具類を制作。



黄楊材煎豆香枕 個人蔵 島内治彦氏撮影

最晩年の作「樺材鯉図丸盆(部分)」直径61cm 個人蔵

秋季特別展示

漆うるわし - 書写塗・竹田塗・丹波漆 兵庫県下のうるし

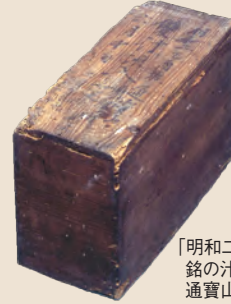
漆の樹液を精製し加工した「漆」は、姫路においても、羽柴秀吉から逃れて和歌山の根来寺から僧侶がもたらしたとされる、書寫山圓教寺を中心に伝わる書写塗や、寺院仏具や仏壇、屋台の塗などに欠かせない素材でした。兵庫県下では、国史跡である竹田城跡(朝来市和田山町竹田)の麓で、かつて作られていた竹田塗があり、書写塗と同様に幻の漆器と謳われています。いまの「家具の町・竹田」の名声は、播磨龍野城から移った竹田城主・赤松広秀(1562-1600)の漆器産業奨励に始まりました。

また世界において、「ジャパン」といえば漆器を指すほどに日本を代表する工芸であるにもかかわらず、現代の漆工芸に使われる国産漆は全体の3%未満であるのが実情です。そのうち国産の7割を占める岩手県浄法寺などをのぞけば、奈良時代より漆原料の産地とされる京都府福知山市夜久野町が、兵庫県に最も近い産地といえるでしょう。京都府指定無形民俗文化財でもあり、丹波(兵庫県北東部から京都府北部を中心とした一帯)の名を冠した漆原料もあわせ、日本のすばらしさを再認識する機会として、兵庫県を中心としたうるわしい漆の一端について紹介します。

書写塗(しよしゃぬり) 書寫山圓教寺蔵
竹田塗(たけだぬり) 通寶山彌勒寺蔵
丹波漆(たんばうるし) 黒田山常光寺蔵



書写塗「磬架」 書寫山圓教寺蔵



〔明和二年(1765) 銘の汁椀箱〕 通寶山彌勒寺蔵



竹田塗「千鳥椀」 黒田山常光寺蔵

現在は、まぼろしの漆器といわれる竹田塗だが、かつては多くの塗師屋がいた。〔寛延二年(1749)の文書資料(部分)〕 竹田塗研究保存会蔵



漆掻き道具 岡本嘉明氏使用 NPO 法人丹波漆蔵



皮むきカマ ウルシの木の荒皮をはいで幹の表面をきれいにする。次のカンナが使いやすいように準備する。



カンナ 幹に傷をつけるのに使う。



ヘラ 傷からしみ出る樹液をすくって筒に入れる。



筒 手首のひもを1回まわして下げ、樹液を入れる。



エクリ 幹の荒皮をはく。皮むきカマより能率を上げるために使う。止め漆作業用。

会期中のイベント

事前申込 往復はがきがインターネットで申込。応募多数の場合は抽選。

◆展示解説会「漆芸と木工芸」

日時/10月25日(日)・11月3日(火祝)・12月6日(日)
①11:00~11:30 ②14:00~14:30 ③15:00~15:30
内容/担当芸芸員が漆展と削物展の見どころをあわせて紹介。定員/各回先着15人 備考/参加無料。観覧は要入館料。

◆講演会「書寫山圓教寺の宝物について」

日時/11月8日(日) 14:00~15:00
講師/大樹玄承師(書寫山圓教寺執事長)
会場/2階ラウンジ
定員/30名
備考/参加無料。観覧は要入館料。10/29(木)までに要事前申込。

◆講演会「城下町竹田の漆器と暮らし」

日時/11月21日(土) 14:00~15:00
講師/松本智翔氏(竹田塗研究保存会会長)
会場/2階ラウンジ 定員/30名
備考/参加無料。観覧は要入館料。11/12(木)までに要事前申込。

◆実演「漆の椀を塗る」

日時/12月13日(日)
①11:00~11:20 ②14:00~14:20 ③15:00~15:20
講師/岡田道明氏(塗師・播磨書写塗伝承会代表)
会場/2階ラウンジ
定員/各回先着20名(密を避けるため、着席者のみの見学)
備考/参加無料。観覧は要入館料。

●「版画教室」

日時/12月5日(土) ①10:00~12:00 ②13:00~15:00
講師/岩田健三郎氏(版画家) 定員/各20人 参加費/500円
備考/11/26(木)までに要事前申込。

●「姫路こま製作体験教室」

日時/12月16日(水) ①10:00~12:30 ②13:30~16:00
講師/村岡正樹氏(姫路こま職人) 定員/各2人(18歳以上)
参加費/3,000円 備考/12/7(月)までに要事前申込。

●「凧づくり教室」

日時/12月19日(土) 9:00~12:00
講師/石井福良氏(日本の凧の会) 定員/20人 参加費/500円
備考/12/10(木)までに要事前申込。

姫路市書写里 美術工芸館 SHOSHA ART & CRAFT MUSEUM

同時開催
●福島県の諸玩具 8月29日(土)~12月17日(木)
●和歌山県の諸玩具 12月19日(土)~2021年4月8日(木)
●はりこ総付けコンクール展 12月5日(土)~12月20日(日)
(作品募集期間) 11月3日(土)~12月3日(木)

姫路市立美術館 ☎079-222-2288
特別展 「日本画家・福田眉仙展」
令和2年10月10日(土)~11月15日(日)

姫路文学館 ☎079-293-8228
特別展 「樋口一葉 その文学と生涯」
令和2年10月3日(土)~11月23日(日)